

5.6 考え出された案について次の事項が考慮されているか否かをチェックする

評価チェック項目

人	主体作業工程		付随作業				物		評価
	作業方法 作業動作	機械装置	段取	保全	運搬	修理	製品	原材料	
労働負荷	作業難易度 単純性	自動化	段取時間 長さ、他	機械装置 の質にお いた保全	運搬回数 ユニット 化	時間	包装	即時入荷	品質 品質 量 時間 費用 安定性 先見性 技術性 自己修 正性
疲労、姿勢 物理的環境	動作経済の 原則	概算	作業への 影響	った保全 制度の再検討	一方向バ レット 運搬量	ユニット 交換 簡単さ	即時 出荷	品質	
残業 適性	安定性	稼働率 操業度	段取時間 のパラツ キ		大量 直運 再運搬		在庫 量	在庫量	
肉体的 心理的	作業簡素化 の原則	保全			活性 カラ運搬 動力の利 用		在庫 時間		
仕事の質と 作業者の質	単調度除去	修理 陳腐化			動力の利 用				
人数	自動化	作業者 (女子、高 齢者に対 する配 慮)			工程のつ なぎ目				
稼働率	ムリ、ムズ、 ムラをなく せ	運業							
余裕率	安全								
ライン編成									
効率化									
多能化									
安全									

Goal: システムを設計し実現させる目標
 Function: システムそれ自体の設計目的
 System: 特定目的達成のために、それに必要な独立要素の有機的な連鎖

6. 生産性の構成

